

札幌丘珠空港ビル株式会社
平成27年度 経営情報
(平成28年3月末日現在)

1 事業者の概要及び事業の概況

(1) 基本的事項

商 号	札幌丘珠空港ビル株式会社 Sapporo Okadama Airport Building Co.,Ltd
所 在 地	札幌市東区丘珠町丘珠空港内
設立年月日	平成2年5月23日
資 本 金	4億9,800万円

(2) 事業者が行う事業の内容

①主な事業

- ・ 貸室業及び空港利用施設の賃貸業
- ・ 航空事業者、航空旅客及び航空貨物に対する役務の提供

②附帯事業

- ・ 食品・清涼飲料・煙草・旅行用品及び観光土産品の販売
- ・ 旅客及び送迎客に対して、見学・送迎施設や待合室の提供、その他サービスの提供
- ・ 広告宣伝業

(3) 役員の地位、氏名及び重要な兼職の状況

第26期事業報告書(P5「取締役及び監査役」)に記載のとおりです。

(4) 事業の概況

第26期事業報告書(P1「事業の概況」)に記載のとおりです。

2 第26期事業報告書

(1) 事業の概況 (P1～P3)

(2) 会社概要 (P4～P5)

(3) 計算書類等 (P6～P10)

3 設備の状況

(1) 既存設備の状況

(単位:千円)

	帳簿価格				
	建物	建物付属設備	器具備品	その他	合計
旅客ビル	394,258	79,131	3,081	900	477,370

(2) 設備の新設・除去等の計画

特記すべき事項はありません。

事業報告

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

I 事業の概況

1 事業の経過及び成果

我が国の経済は、中国経済の減速の影響があるものの、企業収益や雇用環境の改善により、景気は、緩やかながら回復傾向が継続しております。

こうした中、航空業界は、訪日外国人旅行者が過去最高を記録したほか、羽田空港をはじめ、地方空港の国際線発着便数の増や、LCC（ローコストキャリア）の台頭等に伴い、回復の兆しが見えてきたところであります。

一方で、原油価格が低水準で推移したものの、円安や、中国経済の減速に伴う景気の低迷が懸念される等、先行きが不透明なところであります。

当空港においては、HAC（機北海道エアシステム）の安定運航及びJALグループ化に伴うスケールメリット等から、年間乗降客数は、179,824人となり、対前年度比4,664人の増（2.7%増）、搭乗率66.3%（1.6ポイント増）と順調に推移いたしました。

また、当空港開港（1942年）以来はじめて、国際線（エミナハリスカ）のチャーター便をHACが運航した他、7月4日から8月15日まで毎週土曜日と月曜日に（合計14往復）に、FDA（機アジア・エアラインズ）によるチャーター便が運航され、名古屋小牧及び静岡からの丘珠便と、更には、初の試みとして、丘珠からの神戸及び北九州便が運航されたところであります。

【路線別 乗降客数】

路 線		乗降客数（人）			搭 乗 率 （％）	対前年度比 （ポイント）
		平成27年度	平成26年度	対前年度比 （％）		
H	函 館	90,035	89,135	1.0	70.4	0.5
A	釧 路	55,238	53,552	3.1	62.1	2.1
C	利 尻	18,222	17,702	6.7	71.6	5.4
	三沢（八戸）	13,772	13,715	0.4	52.1	2.8
	定期便計	177,595	173,474	2.4	66.1	1.6
H	釧 路	40	—	—	55.6	—
A	利 尻	28	—	—	77.8	—
C	出 雲	25	—	—	69.4	—
	エミナハリスカ	62	—	—	86.1	—
F	名古屋（小牧）	397	1,686	▲76.5	87.1	▲5.3
D	静 岡	744	—	—	97.9	—
A	神 戸	625	—	—	82.2	—
	北九州	294	—	—	96.7	—
	中標津	14	—	—	18.4	—
	チャーター便計	2,229	1,686	32.2	86.7	▲5.7
	合 計	179,824	175,160	2.7	66.3	1.6

参考：函館⇄奥尻	10,458	11,095	▲5.7	42.0	▲2.2
----------	--------	--------	------	------	------

2 経営状況

営業収益については、新規テナントの入居及び当社賃貸借契約条件の見直し、広告収入並びに直営物販店の増収により、売上高は166,849千円（対前年度比9.0%増）を計上した結果、売上原価を含めた売上総利益は、147,243千円（対前年度比9.9%増）となりました。

営業費用では、昨年度実施した外壁塗装及びガラスの交換工事等の大型工事が、今期なかったため、その反動による費用の減少及び可能な限り経費を削減した結果、126,029千円（対前年度比3.2%減）となり、営業利益金額は、21,214千円、経常利益金額は、22,391千円となりました。

また、今期、退職金支給基準の見直しに伴い、過年度修正を含めた退職給付引当金を計上した結果、当期純利益金額は、8,457千円となりました。

資金の状況については、冷温水機及び防災盤の更新等を実施した結果、現預金は、301,854千円（対前年度比38,974千円・14.8%増）となったところであります。

3 今後対処すべき課題

当空港にとっては、HACの安定運航及び利用促進が必要不可欠であり、今後もHAC（JAL含む）等と連携を深めて、空港の利用促進を図るとともに、FDAが、本年6月から10月まで火曜日と土曜日の週2便、静岡線定期便の就航を予定していることから、札幌の観光振興はもとより、HAC路線への乗継ぎ等による相乗効果が見込まれるなど、今後の丘珠空港の更なる活用策として、HAC及びFDA並びに空港関係者等と連携して、利用促進に努めて参ります。

また、当空港ビルは、平成4年の開業から24年が経過し、建物保全の費用増が見込まれていること、また、利用者サービス向上対策として、バリアフリー対策の検討を進める等、当社の経営は、今後も厳しい状況が見込まれることから、更なる費用の削減を図るとともに、物販店の売上収入及び広告収入の増加に努め、経営の安定化を図って参ります。

更には、HAC及びFDAをはじめ、北海道、札幌市、経済界等の関係機関と連携し、乗降客増の対策として、既存路線の更なる需要の喚起を図るとともに、乗降客以外の集客対策として引き続き、産直市及びロビーコンサート、札幌丘珠エアポートアカデミー、きっずわ〜くをはじめ、各種イベントを継続して開催することで、当空港をより身近に感じてもらい、理解や関心を高めてもらうよう取り組んで参ります。

一方、国が進める国管理空港（共用空港含む）の空港民営化については、道内複数空港の一体経営化議論が大きく進むことが予想されることから、関係機関と協議をしながら、引き続き検討して参ります。

4 設備投資の状況及び資金調達の状況

今期は、冷温水機及び防災盤更新等、総額26,707千円の建設改良事業を行いました。

なお、この資金は、全額自己資金をもって充当いたしました。

5 入居者（平成 28 年 3 月 31 日現在）

- ① 航空会社
株式会社北海道エアシステム（HAC）
- ② 飲食店
丘珠キッチン（株式会社スコット）
- ③ 物販店
スカイショップおかだま（当社直営店）
- ④ レンタカー
株式会社トヨタレンタリース札幌
株式会社日産カーレンタルソリューション
三愛自動車工業株式会社
オリックス自動車株式会社
- ⑤ その他
札幌市
北海道札幌方面東警察署丘珠空港警備派出所
国際航空給油株式会社
株式会社ジーエム北都
株式会社日本空港コンサルタンツ
北海道フライトサービス株式会社
札幌テレビ放送株式会社

第26期 事業報告書

6 業績の推移

単位 千円

回 次	第 23 期	第 24 期	第 25 期	第 26 期 (当 期)
決 算 年 月	平成25年3月	平成26年3月	平成27年3月	平成28年3月
売 上 高	142,728	150,095	153,094	166,849
営 業 利 益 金 額	2,740	-3,016	3,779	21,214
経 常 利 益 金 額	3,148	-1,287	4,790	22,391
当期純利益金額	2,547	-1,610	4,078	8,457
一 株 当 たり 当期純利益金額	256 円	-162 円	409 円	849 円
総 資 産	738,670	750,440	750,990	788,727
純 資 産	691,232	689,621	693,699	702,157

記載金額は、千円未満を端数処理しております。

Ⅱ 会 社 概 要 （平成28年3月31日現在）

1 主要な事業内容

貸室並びに空港利用施設の賃貸業、航空事業者及び航空旅客に対する役務の提供等

2 株式の状況

- (1) 会社が発行する株式の総数 34,320 株
- (2) 発行済株式の総数 9,960 株
- (3) 当期末株主数 10 名

3 株主の状況

株 主 名	株 数(株)	持株比率(%)	株主に対する出資
札幌市	2,600	26.11	0
ANAホールディングス(株)	2,500	25.10	0
北海道	1,300	13.05	0
(株)日本政策投資銀行	1,300	13.05	0
札幌商工会議所	862	8.66	0
(株)北洋銀行	498	5.00	0
(株)北海道銀行	450	4.52	0
北海道電力(株)	200	2.01	0
北栄保険サービス(株)	150	1.50	0
北海道瓦斯(株)	100	1.00	0

4 取締役及び監査役

役 職 名	氏 名	摘 要
代表取締役社長	吉 岡 亨	札幌市副市長
常務取締役	橋 俊 明	
取 締 役	浦 田 洋	札幌市市民まちづくり局都市計画担当局長
同	木 本 晃	北海道総合政策部航空局長
同	西 山 健 介	㈱日本政策投資銀行北海道支店次長
同	廣 田 恭 一	札幌商工会議所常務理事・事務局長
同	小 林 良 輔	㈱北洋銀行常務執行役員公務金融部長
同	村 上 則 好	㈱北海道銀行専務執行役員本店長
同	古 郡 宏 章	北海道電力㈱取締役常務執行役員
同	土 谷 浩 昭	北海道瓦斯㈱取締役常務執行役員
監 査 役	佐 藤 馨 一	学校法人北海学園北海商科大学教授
同	高 野 一 夫	高野公認会計士事務所 公認会計士 税理士

当期中の退任取締役

代表取締役社長	生 島 典 明	(平成27年6月19日退任)
取 締 役	若 松 郁 郎	(平成27年6月19日退任)
取 締 役	大 橋 裕 二	(平成27年6月19日退任)
取 締 役	高 田 敏 春	(平成27年6月19日退任)
取 締 役	山 川 広 行	(平成27年6月19日退任)
取 締 役	森 昌 弘	(平成27年6月19日退任)

5 主要な借入先・借入残額等

なし

6 従業員の状況

単位 人	
男 ・ 女別及び人員	
男 性	1
女 性	1
合 計	2

(注) 上記には、嘱託社員(1人)及びパート社員(3人)は、含まれておりません。

第26期 事業報告書

貸 借 対 照 表

平成28年3月31日現在

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	308,332,729	流動負債	56,491,968
現金及び預金	301,854,037	未払金	36,590,506
商品	1,140,645	未払法人税等	7,049,400
前払金	72,980	未払消費税等	4,182,300
未収入金	5,265,067	前受金	7,683,552
		預り金	184,693
		賞与引当金	801,517
固定資産	480,394,769	固定負債	30,079,029
有形固定資産	477,369,902	長期預り金	14,134,000
建物	394,258,199	退職給付引当金	15,945,029
建物付属設備	79,131,169		
工具器具備品	3,080,534		
建設仮勘定	900,000		
無形固定資産	2,710,567	負債合計	86,570,997
電話加入権	218,400	純資産の部	
ソフトウェア	2,492,167	株主資本	702,156,501
投資等	314,300	資本金	498,000,000
保険積立金	12,800	利益剰余金	204,156,501
保証金	301,500	利益準備金	15,000,000
		その他利益剰余金	189,156,501
		別途積立金	100,000,000
		建設積立金	35,000,000
		繰越利益剰余金	54,156,501
		純資産合計	702,156,501
資産合計	788,727,498	負債・純資産合計	788,727,498

第26期 事業報告書

損 益 計 算 書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	金 額	
売 上 高 賃 貸 収 入 附 帯 事 業 収 入 商 品 売 上	132,930,734 8,077,740 25,840,072	166,848,546
売 上 原 価 期 首 商 品 棚 卸 高 商 品 仕 入 期 末 商 品 棚 卸 高	987,882 19,758,547 1,140,645	19,605,784
売 上 総 利 益		147,242,762
営業費及び一般管理費		126,028,589
営 業 利 益 金 額		21,214,173
営 業 外 収 益 受 取 利 息 雑 収 入	62,500 1,220,484	1,282,984
営 業 外 費 用 支 払 利 息 雑 損 失	3,064 102,986	106,050
経 常 利 益 金 額		22,391,107
特 別 損 失 過 年 度 損 益 修 正 損	7,652,429	7,652,429
税引前当期純利益金額		14,738,678
法人税・住民税及び事業税		6,281,266
当 期 純 利 益 金 額		8,457,412

株主資本等変動計算書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

(単位 千円)

項 目	株 主 資 本							純 資 産 計 合 計
	資 本 金	利 益 剰 余 金					株主資本計 合 計	
		利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金			利 剰 余 合 計		
			別 途 積 立 金	建 設 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金			
前期末残高	498,000	15,000	100,000	35,000	45,699	195,699	693,699	693,699
当期変動額								
剰余金から 準備金へ振替					0			
剰余金の内訳 科目間の振替					0			
当期純利益金額					8,457	8,457	8,457	8,457
当期変動額合計		0	0	0	8,457	8,457	8,457	8,457
当期末残高	498,000	15,000	100,000	35,000	54,156	204,156	702,156	702,156

個 別 注 記 表

1 重要な会計方針に係る事項

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品 最終仕入原価法による原価法によっております。

(2) 固定資産の減価償却方法

① 有形固定資産 定額法によっております。

② 無形固定資産 定額法によっております。

(3) 重要な引当金の計算基準

① 退職給付引当金 従業員の退職金支給に備えるため、退職金支給規則に基づき、当期末における退職金要支給額の当期分を計上しております。

② 賞与引当金 従業員に対する賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。

(4) 消費税の会計処理 税抜き方式によっております。

(5) リース取引の処理方法 ファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(6) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

2 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 会社が発行する株式の総数 34,320 株

(2) 発行済株式の総数 9,960 株

3 その他の注記

有形固定資産の減価償却累計額 872,496 千円

監 査 報 告

平成28年5月13日

札幌丘珠空港ビル株式会社
代表取締役社長 吉岡 亨 様

監査役 佐 藤 馨



監査役 高 野 一 夫



私、監査役として、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第26期事業年度における会計及び会計以外の業務の監査を行いましたので、次のとおり報告いたします。

1 監査方法の概要

- (1) 会計監査のため会計帳簿及び書類を閲覧し、計算書類について慎重に検討し、必要と思われる審査、立会い、照合、取締役等からの報告聴取その他相当な方法を用いて調査いたしました。
- (2) 会計以外の業務執行の経過及び結果を監査するため、取締役会その他の会議に出席し、取締役から営業の報告を求め、決裁書類等重要な書類を閲覧し、その他必要と思われる方法を用いて調査いたしました。

2 監査役の意見

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表及び損益計算書の記載と合致していると認めます。
- (2) 貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表は、法令及び定款に従い、会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 事業報告の内容は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 附属明細書は、記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (5) 取締役の職務執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

以 上